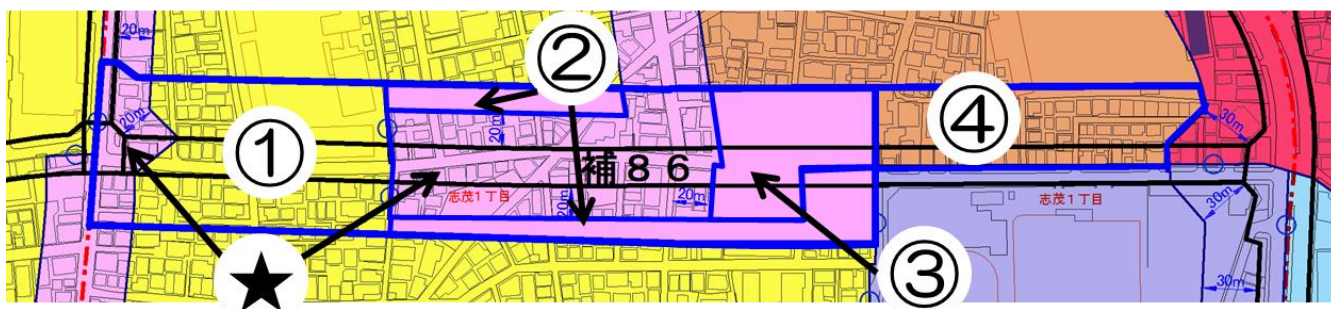
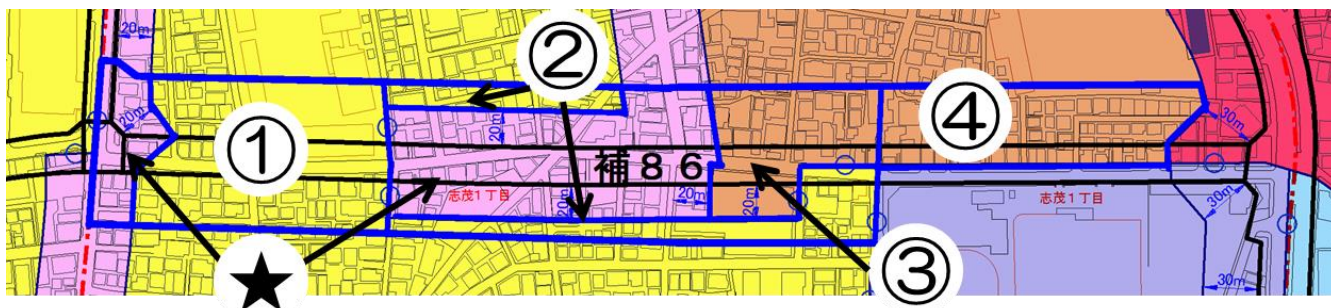


# 1. 補助86号線沿道用途の見直し（案）

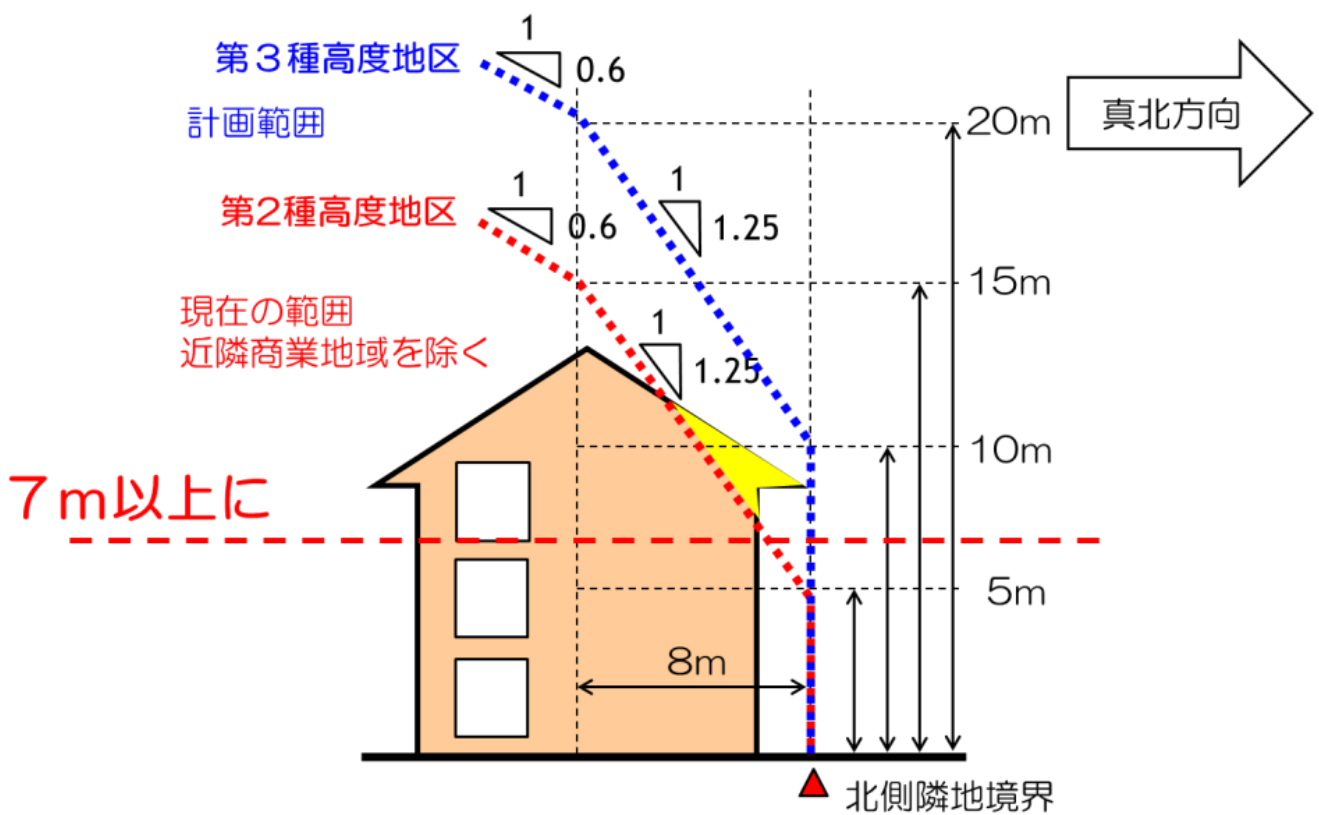
番号		用途	建ぺい率	容積率	高度地区	防火準防火
★	現行	近商	80	300	3高	準防火
	予定	近商	80	300	3高・最低	防火
①	現行	一住	60	200	2高	準防火
	予定	一住	60	300	3高・最低	防火
②	現行	一住	60	200	2高	準防火
	予定	近商	80	300	3高・最低	防火
③	現行	準工	60	200	2高	準防火
	予定	近商	80	300	3高・最低	防火
④	現行	準工	60	200	2高	準防火
	予定	準工	60	300	3高・最低	防火



日影規制の変更

番号		規制値 1	規制値 2
★	変更前	5時間	3時間
	変更後	5時間	3時間
①②③④	変更前	4時間	2.5時間
	変更後	5時間	3時間

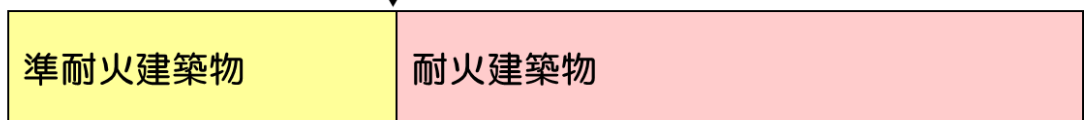
○建築物の高さの最低限度（7m）・第3種高度地区と第2種高度地区



○防火規制の指定

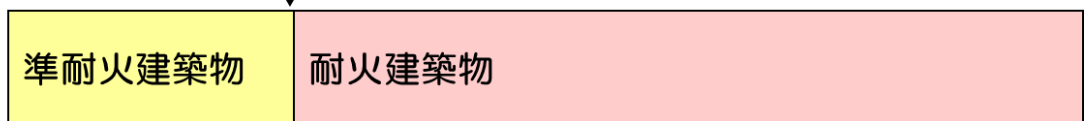
新たな  
防火規制  
区域

500㎡超（又は4階以上）



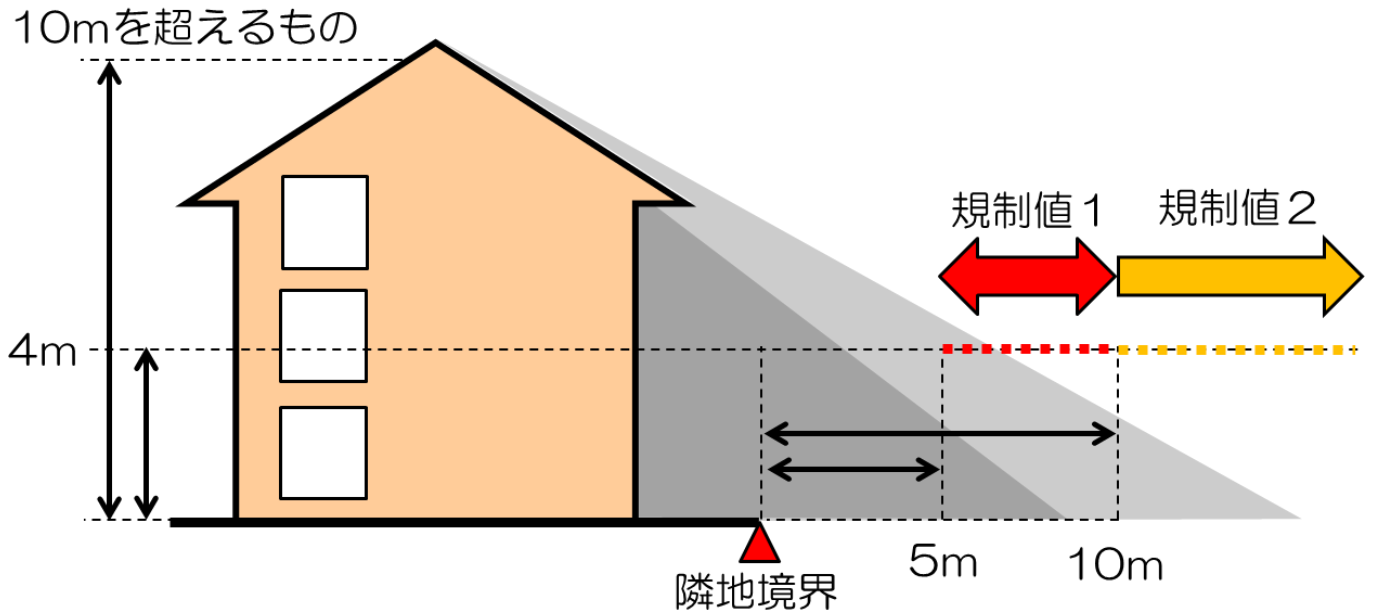
100㎡超（又は3階以上）

防火地域



## ○日影規制

10m を超える建築物を対象とし、測定水平面（今回4m）に一定時間以上、規制値1・規制値2における冬至日の日影を生じさせないようにする規制



## 2. 支援策 ～都市防災不燃化促進事業～

### ○事業導入について

**範囲**：補助 86 号線の道路端から 30mまで

**条件**：最低限高度、防火規制

**期間**：10 年間

### ○補助内容について

#### ① 一定の基準に適合する耐火建築物を建築する場合

最低でも 200 万円の助成金を受けることができます。（最高限度額あり）

#### ② 昭和 56 年以前の老朽建築物等を除却する場合

160 万円を限度に助成金を受けることができます。

※除却費が補 86 の補償の対象となる場合は不可

